

Sonus faber

MINIMA AMATOR

II

ミニマ・アマトールII



HERITAGE
COLLECTION

■伝統的なミニマリズム、革新の技術



1990年デビューの“Minima (ミニマ)”はラテン語で「小さな」を意味します。他にも1993年発売の“Minima Amator (ミニマ・アマトル)”, 2008年発売の“Minima Vintage (ミニマ・ヴィンテージ)”といった“Minima”の名前を冠するモデルは、その名の通りどれもが極めて小型です。そして全てのモデルにおいて、サイズを感じさせられないほどの音場や空気感の再現、気品あふれるサウンド、意匠を凝らした優美なデザインは、これまで世界中のオーディオファイルを魅了してきました。そして2020年、“Minima Amator”を彷彿とさせる輪郭や質感といった特徴を継承しながら、新設計の斬新なデザインでリ・バイバルされた“Minima Amator II (ミニマ・アマトルII)”が登場します。キャビネットの木材には、加工が難しい無垢のウォルナット材を使用、フロント/リアバツフルには本革を張り、本体下部には金色のインサート、それぞれが見事に調和した新たなイタリアン・デザインの達成は、ソナス・ファベールならではの熟練した技巧を感じて頂ける逸品といえるでしょう。

■専用設計された新規パーツ群

《ツイーター》

初代“ミニマ・アマトル”で表現されていた3脚のアロー・ポイント・デザインは、当時の形状を踏襲しながらも新設計となる同社独自技術のDAD (Damped Apex Dome)テクノロジーを採用したツイーターとして蘇りました。DADは、ソフトドーム型とリングラジエーターの利点を兼ね備えた近年の同社上位モデルから採用されている技術で、現代ソナス・ファベールのキー・テクノロジーのひとつです。



《ミッド・ウーファー》

中/低域を担う150mmのミッド・ウーファーは本機の専用新設計ユニットです。ダイヤフラムは高品質のセルロース・パルプを自然乾燥させた素材をブレンドしたカスタムメイド。キャビネットに使用した天然のウォルナット材を活かす、ナチュラルなサウンドを再生します。



Specifications

形式	2ウェイ 2スピーカー バスレフ方式 ブックシェルフ型スピーカー
ユニット構成	ツイーター:28mmアローポイントDAD シルク・ソフトドーム型 ミッド・ウーファー:150mmコーン型
再生周波数帯域	50~35,000Hz (ステルス・ウルトラフレックス含む)
能率	87dB/W/m
定格インピーダンス	4Ω
クロスオーバー周波数	2,500Hz
外径寸法	W200mm×D310mm×H325mm (本体部) W282mm×D380mm×H1050mm (Stand Olympica NOVA装着時) W302mm×D380mm×H1089mm (Carrara Stand装着時)
本体重量	7.1kg/本 : 本体部 13.8kg/本 : Stand Olympica NOVA装着時 18.3kg/本 : Carrara Stand装着時
希望小売価格	520,000 円 (ペア/税別)
推奨スピーカースタンド	Stand OLYMPICA NOVA: 100,000 円(ペア・税別) Carrara Stand: 180,000 円(ペア・税別)



Stand Olympica
NOVA 装着時

Carrara Stand
装着時